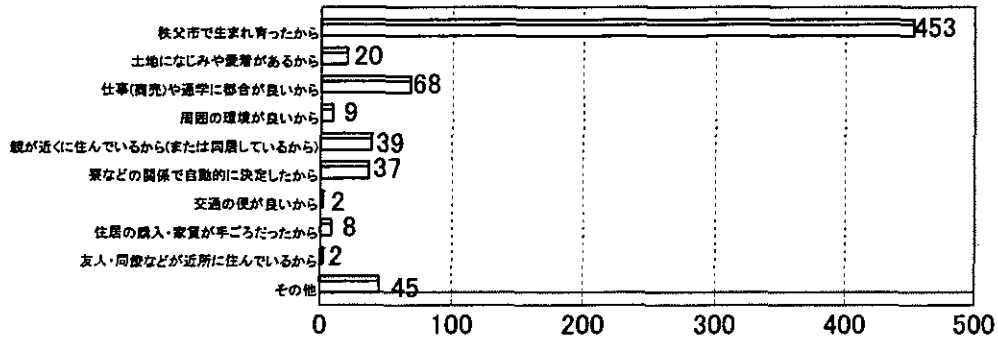
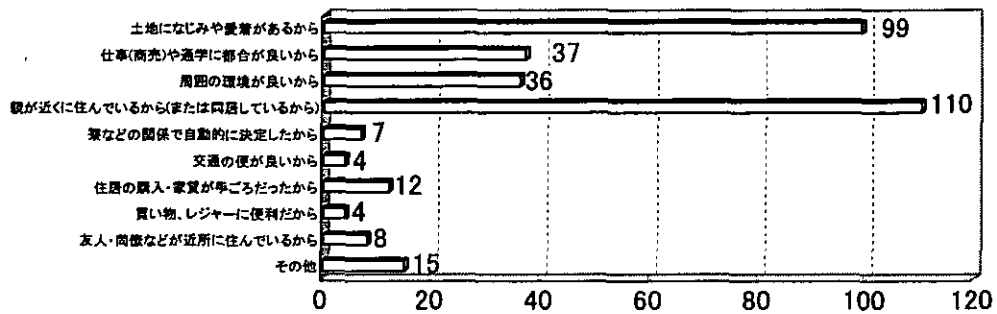


秩父市に住み始めた理由

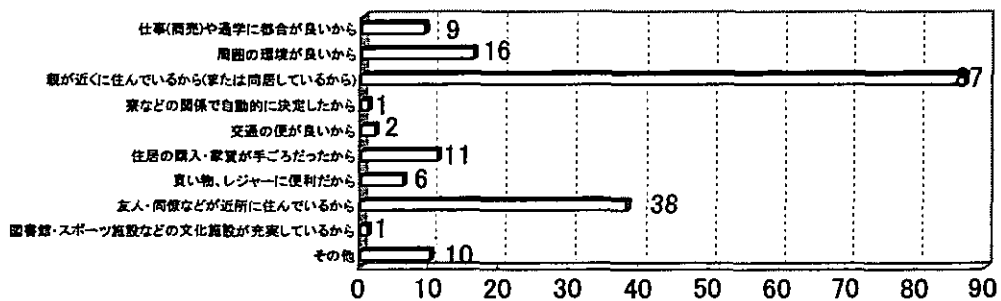
理由1<N=683>



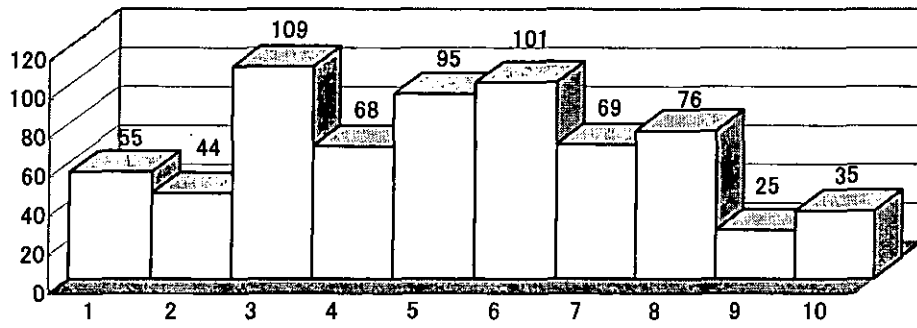
理由2<N=332>



理由3<N=181>



問37 秩父市居住満足度<N=677、平均:6.755>



少子化に関する市民調査

結婚されている方(女性)用

※この調査では、法的な婚姻関係および事実上の結婚（内縁を含む）を結婚としております。

平成15年6月
(調査実施) 秩父市企画財政部
(調査研究) 少子化研究会
(研究助成) 厚生労働省

※少子化研究会は国立社会保障・人口問題研究所を中心とした厚生労働省の研究プロジェクトです。

*** 調査ご協力のお願い ***

少子化の進行は、社会経済全般にわたって大きな影響を及ぼすと予測されており、秩父市においても、少子化の動向をふまえた市政運営が、これまで以上に重要になってきております。

今回の調査は、市民の皆様が、仕事、家族、結婚、出産・子育てといったことに対して、どのような意識をお持ちになっているかをおうかがいするために実施するものです。市民の皆様の率直なお考えをお聞かせいただき、それらのご意見を少子化に関する政策立案の基礎資料にさせていただきます。

調査をお願いする皆様は、市内在住の20歳から49歳の結婚されている女性の中から、2000名の方を無作為に選ばせていただきました。

プライベートなことをおうかがいする場合もございますが、この調査は無記名で行なわれ、また、回答はすべて統計的に処理されるため、個人が特定されることはありません。また、この調査票に記入した事項は、統計以外の目的に使用したり、他人にもらしたりすることは絶対にありません。本調査の主旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

平成15年6月 秩父市企画財政部

<アンケート調査のご記入にあたって>

- ① ボールペンまたは鉛筆で記入してください。
- ② このアンケートは、夫婦のうち女性(宛名のご本人)にご記入いただきます。なお、一部、配偶者(夫)のお考えについてご記入いただくところもございますので、よろしく申し上げます。
- ③ 質問番号順にお答えください。矢印(→)では指示にしたがって進んでください。

誠に勝手ながら、平成15年6月30日(月)までに、返信用封筒に切手を貼らずにご投かんくださいますようお願い申し上げます。(封筒にお名前を書く必要もございません。)

問合せ先：秩父市企画財政部企画課
電話：0494(22)2202 (直通)

問1 あなたと夫の出生年月を記入してください。

あなた	夫
昭和____年____月生まれ 満____歳	昭和____年____月生まれ 満____歳

問2 あなたが、(1)現在の結婚生活(同居)を開始したのはいつですか。その年月を記入してください。また、(2)現在の結婚が初婚か再婚かについても、あてはまる番号に○をつけてください。

(1)結婚生活を開始した年月	(2)初再婚の別	
[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] ____年____月	あなた	夫
	1. 初婚 2. 再婚	1. 初婚 2. 再婚

問3 あなたの学校卒業後(中退後)最初についた仕事と現在の仕事についておたずねします。各時期におけるあなたの(1)従業上の地位、(2)職業、(3)従業員数について、選択肢からあてはまるものを選び、太枠内の番号に1つずつ○をつけてください。

対 象 時 期 ↓	(1)従業上の地位	(2)職 業	(3)従業員数 (本社・支社・工場のすべてを含む)
		1. 企業・団体の役員 2. 民間の正社員 3. 官公庁の正職員 4. パート・アルバイト・派遣 5. 自営業主・家族従業者 6. その他 7. 無職(学生を含む)・家事	1. 専門的・技術的職業 2. 事務・販売・サービス・保安職業 3. 農林漁業作業 4. 現場労働(運輸・製造・建設・その他) 5. その他
a. 卒業(中退)後の初職	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
b. 現 在	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

問4 あなたの夫の学校卒業後(中退後)最初についた仕事と結婚を決めた時の仕事、及び現在の仕事についておたずねします。各時期におけるあなたの夫の(1)従業上の地位、(2)職業、(3)従業員数について選択肢からあてはまるものを選び、太枠内の番号に1つずつ○をつけてください。

対 象 時 期 ↓	(1)従業上の地位	(2)職 業	(3)従業員数 (本社・支社・工場のすべてを含む)
		1. 企業・団体の役員 2. 民間の正社員 3. 官公庁の正職員 4. パート・アルバイト・派遣 5. 自営業主・家族従業者 6. その他 7. 無職(学生を含む)・家事	1. 専門的・技術的職業 2. 事務・販売・サービス・保安職業 3. 農林漁業作業 4. 現場労働(運輸・製造・建設・その他) 5. その他
a. 卒業(中退)後の初職	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
b. あなたと結婚した時	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
c. 現 在	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

問5 あなたと夫が、学校卒業後（中退後）に初めて仕事についたのはいつですか。いままで仕事についたことのない方は記入しないで結構です。

あなた	夫
[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年____月	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年____月

問6 あなたの結婚・出産前後の時期における仕事についておたずねします。各時期におけるあなたの(1)主な従業上の地位、(2)職業、(3)従業員数について、選択肢からあてはまるものを選び、太枠内の番号に1つずつ○をつけてください。

対 象 時 期 ↓	(1)主な従業上の地位	(2)職 業	(3)従業員数 (本社・支社・工場のすべてを含む)
		1. 企業・団体の役員 2. 民間の正社員 3. 官公庁の正職員 4. パート・アルバイト・派遣 5. 自営業主・家族従業者 6. その他 7. 無職（学生を含む）・家事	1. 専門的・技術的職業 2. 事務・販売・サービス・ 保安職業 3. 農林漁業作業者 4. 現場労働（運輸・製造・ 建設・その他） 5. その他
a. 結婚前の一年間	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
b. 結婚後の一年間	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
【以下は、出産を経験した方のみお答えください。】			
c. 第1子出産前の一年間	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
d. 第1子出産後の一年間	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
e. 第2子出産前の一年間	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
f. 第2子出産後の一年間	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

問7 結婚前後・第1子出産前後・第2子出産前後のいずれかでお仕事を辞めた方におたずねします。各時期において、お仕事を辞めた理由は何ですか。選択肢からあてはまる番号を2つまで選び、重要な順に回答欄に記入してください。なお、「7. その他」を選ぶ場合はカッコ内に具体的な内容を記入してください。

<p>【右の回答欄に番号を記入】</p> <p>1. 家事・育児をしっかりとやれなかったから</p> <p>2. 夫の収入だけで暮らせるから</p> <p>3. 健康上の理由で</p> <p>4. 職場の都合や慣習で</p> <p>5. 夫が望んだから</p> <p>6. 転居することになったから</p> <p>7. その他 ()</p>	回答欄	第1	第2
	a. 結婚前後		
	b. 第1子出産前後		
	c. 第2子出産前後		

問8 あなたと夫の(1)一日の平均労働時間、(2)一週間の平均労働日数、(3)平均的な通勤時間(片道)、(4)平均的な帰宅時間についておたずねします。下の各欄について、それぞれ、あてはまる数字を記入してください。仕事をお持ちでない方は記入しないで結構です。

対象者	(1) 一日の 平均労働時間	(2) 一週間の 平均労働日数	(3) 平均的な 通勤時間(片道)	(4) 平均的な 帰宅時間
あなた	_____時間	_____日	_____時間_____分	[1. 午前 2. 午後] _____時頃
夫	_____時間	_____日	_____時間_____分	[1. 午前 2. 午後] _____時頃

問9 下欄に女性の生き方のタイプがいくつか示してあります。

(1) あなたの理想とする人生はどのタイプですか。

(2) 理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか。

それぞれ、あてはまるものを下の選択肢の中から選び、回答欄にその番号を記入してください。

なお、「7. その他」を選ぶ場合は、具体的な内容をカッコ内に記入してください。

【下の回答欄に番号を記入】

1. 結婚・出産で仕事を辞めず、フルタイムの仕事続ける
2. 結婚・出産で仕事を辞めず、パートタイムの仕事続ける
3. 結婚あるいは出産を機にいったん退職し、適当な時期にフルタイムの仕事につく
4. 結婚あるいは出産を機にいったん退職し、適当な時期にパートタイムの仕事につく
5. 結婚あるいは出産を機に退職し、その後は仕事につかない
6. 結婚・出産をせず、仕事続ける
7. その他 (具体的に: _____)

回 答 欄	
(1)理想とする人生のタイプ	
(2)実際になりそうな人生のタイプ	

問10 あなたが15歳の頃、あなたの家庭の暮らしぶりは、当時の平均的な家庭と比べて、どうでしたか。あなたの考えに近い数字に○をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
← 低い										高い →								

問 11 現在のあなたの暮らしぶりは、世間一般と比べて、どのくらいだと思いますか。あなたの考えに近い数字に○をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
← 低い										高い →								

問 12 現在のあなたの暮らしぶりは、あなたが 15 歳の頃と比べて、どのくらいだと思いますか。あなたの考えに近い数字に○をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
← 低い										高い →								

問 13 あなたが 15 歳の頃、あなたの父親は、仕事と家庭のどちらを優先していましたか。また、現在、あなたは仕事と家庭のバランスという点でどのような父親像が望ましいと思いますか。それぞれ、あなたの考えに近い数字に○をつけてください。なお、15 歳の頃に父親が不在だった方は、(1)は無記入で結構です。

(1) あなたが 15 歳のときのあなたの父親

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
← 家庭優先										仕事優先 →								

(2) あなたの望む父親像

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
← 家庭優先										仕事優先 →								

問 14 親との別居経験についておたずねします。あなたと夫は、(1)これまでに親と別居して生活したことがありますか。ある場合は、初めて親元を離れた時の年月と(2)主な別居理由、および(3)親元を離れる前に住んでいた地域についてお答えください。

対象者	(1) 別居経験の有無	(2) 別居理由 ※主なもの1つに○	(3) 別居前居住地
あなた	1. ある ↓ [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] → _____年_____月に別居 2. ない	1. 進学 2. 就職 3. 転勤・転職 4. 結婚 5. 親からの自立 6. その他 ()	1. 農村、山村、漁村 2. 地方小都市 3. 県庁所在地、それと同等以上の大都市
夫	1. ある ↓ [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] → _____年_____月に別居 2. ない	1. 進学 2. 就職 3. 転勤・転職 4. 結婚 5. 親からの自立 6. その他 ()	1. 農村、山村、漁村 2. 地方小都市 3. 県庁所在地、それと同等以上の大都市

問 15 あなたは「結婚適齢期」というものがあると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。あると思う方は、男性・女性それぞれの結婚適齢期について、数字を記入してください。

男性の結婚適齢期	1. 特にないと思う	2. あると思う→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	歳くらい
女性の結婚適齢期	1. 特にないと思う	2. あると思う→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	歳くらい

問 16 あなた方ご夫婦の現在の世帯人数およびその家族内訳についておたずねします。(1)あなたを含めて世帯の人数は何人ですか。数字を記入してください。(2)同居家族の内訳について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。子ども、その他に該当する方がいる場合は、()内に人数も記入してください。

(1)世帯人数	(2)同居者の内訳
あなたを含めて _____人	1. 夫 2. 子ども→()人 3. 夫の父親 4. 夫の母親 5. あなたの父親 6. あなたの母親 7. その他→()人

※同居者は、二世帯住宅等を含めて同一の住居に居住している家族をさします。なお、敷地内別居の場合は、生計(日常生活を営む上での収入・支出)を共にしていれば同居者としてお答えください。

問 17 あなたと夫の兄弟姉妹数をカッコ内に記入してください。いないときは0を記入してください。

あなた	兄()人	姉()人	弟()人	妹()人
夫	兄()人	姉()人	弟()人	妹()人

問 18 あなたは現在の結婚生活に満足していますか。あなたの考えに近い数字に○をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
← 不満										満足 →								

問 19 貯蓄を除いた家計支出のうち、あなたと夫の支出負担割合はどのくらいですか。あてはまる数字を記入してください。

あなた()%	夫()%
---------	-------

問 20 あなたの夫の家事分担と子育てについておたずねします。あなたの夫は、次の a～i にあげる家事や子どもの世話をどのくらいしていますか。太枠内のあてはまる番号に、それぞれ1つつ〇をつけてください。(f～iは子どものいる方のみお答えください。)

家事・子どもの世話の種類		1 たいてい する	2 半分程度 する	3 ときどき する	4 たまに する	5 まったく しない
子どもが生まれる前 ※全員の方が記入	a. 家の掃除	1	2	3	4	5
	b. 洗濯	1	2	3	4	5
	c. 夕食の用意	1	2	3	4	5
	d. 買物(日用品や食料品)	1	2	3	4	5
	e. 親などの介護(要介護者がいる方のみ記入)	1	2	3	4	5
子どもが生まれてから ※小学生のときまで	f. 子どもの食事の世話	1	2	3	4	5
	g. 子どもの送り迎え	1	2	3	4	5
	h. 子どもの遊び相手	1	2	3	4	5
	i. 子どもを風呂に入れる	1	2	3	4	5

問 21 次の a～k の生き方や考え方について、あなたはどう思いますか。それぞれについて、太枠内のあてはまる番号に1つつ〇をつけてください。

生き方や考え方について	1 そう 思う	2 そう 思う どちらか といえ ば	3 そう は思 わな い	4 そう は思 わな い
a. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
b. 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念すべきだ	1	2	3	4
c. 年をとった親は子どもが面倒をみるべきだ	1	2	3	4
d. 男女が一緒に暮らすなら結婚すべきだ	1	2	3	4
e. 子どもは法的に結婚した夫婦の間で生まれるべきだ	1	2	3	4
f. 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4
g. 男性も身の回りのことや家事をするべきだ	1	2	3	4
h. 一生独身でいるより、結婚したほうがよい	1	2	3	4
i. 夫に十分な収入がある場合、妻は仕事を持たない方がよい	1	2	3	4
j. 妻にとって、自分の仕事を持つよりも夫の仕事の手助けをする方が大切	1	2	3	4
k. 母親が働くと、小学校へあがる前の子どもに良くない影響を与える	1	2	3	4

問 22 あなた方ご夫婦の間に子どもは何人いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
5人以上いる場合は、人数を記入してください。

0. 子どもはいない	3. 3人
1. 1人	4. 4人
2. 2人	5. 5人以上 (____人)

問 23 子どもが1人以上いる方におたずねします。生んだ子ども(死産・流産は除く)について、第5子まで、(1)子どもの性別、(2)出生年月、(3)現在の生死の別について記入してください。6人以上子どもをお持ちの場合は、第5子までの記入でけっこうです。

出生順位	(1)性別	(2)出生年月	(3)現在の生死の別
a. 第1子	1. 男 2. 女	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] ____年____月生まれ	1. 生存 2. 死亡
b. 第2子	1. 男 2. 女	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] ____年____月生まれ	1. 生存 2. 死亡
c. 第3子	1. 男 2. 女	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] ____年____月生まれ	1. 生存 2. 死亡
d. 第4子	1. 男 2. 女	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] ____年____月生まれ	1. 生存 2. 死亡
e. 第5子	1. 男 2. 女	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] ____年____月生まれ	1. 生存 2. 死亡

問 24 あなた方ご夫婦にとって、理想の子どもの数は何人ですか。あなたと夫のそれぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。5人以上の場合は、人数を記入してください。

あなた		夫	
0. 子どもはいらない	3. 3人	0. 子どもはいらない	3. 3人
1. 1人	4. 4人	1. 1人	4. 4人
2. 2人	5. 5人以上 (____人)	2. 2人	5. 5人以上 (____人)

問 25 あなた方ご夫婦は、これから何人子どもを持つつもりですか。あなたと夫のそれぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。5人以上の場合は、人数を記入してください。

あなた		夫	
0. もう持つつもりはない	4. あと4人	0. もう持つつもりはない	4. あと4人
1. あと1人	5. あと5人以上	1. あと1人	5. あと5人以上
2. あと2人	(____人)	2. あと2人	(____人)
3. あと3人		3. あと3人	

問 26 あなた方ご夫婦の意見を調整しますと、すでにいる子どもと、これから持つつもりの子どもを合わせて**全部で何人の子どもを持つつもり**ですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。5人以上の場合は、人数を記入してください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 0. 子どもを持つつもりはない | 3. 3人 |
| 1. 1人 | 4. 4人 |
| 2. 2人 | 5. 5人以上 (____人) |

問 27 前問（問 26）でおたずねした予定子ども数について、回答された子どもの数より多くの子どもを持つとなさらないのはどうしてですか。その理由について、あてはまるものを**最大 3 つまで**選んで○をつけてください。なお、「11. その他」を選ぶ場合は、カッコ内に具体的な内容を記入してください。

- | |
|---|
| 1. 自分のやりたい勉強や趣味をする時間がなくなるから |
| 2. 自分の仕事（勤め、家業、家事、介護）からみて負担がかかりすぎるから |
| 3. 子ども一人一人の面倒をみる時間が十分とれなくなるから |
| 4. 教育費がかかりすぎ、子ども一人一人に十分お金をかけてあげられなくなるから |
| 5. 生活水準が落ちてしまうから |
| 6. 子育ての精神的負担が重くなりすぎるから |
| 7. 子育ての体力的負担がかかりすぎるから |
| 8. 出産年齢が高くなりすぎるから |
| 9. 住居のスペースに余裕がないから |
| 10. 子育ての社会的環境が整っていないから |
| 11. その他（具体的に： _____) |

問 28 あなた方ご夫婦が**結婚した当時、あなたは何人の子どもを持つとうとお考え**でしたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 0. 子どもを持つつもりはなかった | 4. 4人 |
| 1. 1人 | 5. 5人以上 (____人) |
| 2. 2人 | 6. 特に考えていなかった |
| 3. 3人 | |

問 29 前問（問 28）で、**結婚当時、子どもを1人以上持つつもりだった方**にうかがいます。**最初の子どもは、遅くとも、あなたが何歳くらいの時に持つとうと思**っていましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、1を選んだ場合は、持つとうとお考えだった年齢を記入してください。

- | |
|--|
| 1. 遅くとも自分が <input type="text"/> <input type="text"/> 歳くらいのとき |
| 2. 何歳で持つかは特に考えていなかった |

問 30 あなたは、次にあげる子どもの教育に関する考え方についてどう思いますか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	1	2	3	4
子どもの教育に関する考え方	1 そう思う	2 どちらかといえ ば そう思う	3 どちらかといえ ば そうは思わない	4 そうは思わない
a. 日本は学歴によって人生がほとんど決まる	1	2	3	4
b. 学歴によって、生涯に得られる合計所得にはかなり格差が出る	1	2	3	4
c. 子どもの学歴は家庭のしつけや親の教育方針で決まる	1	2	3	4
d. 子どもの学歴は生まれ育った家庭の教養や文化で決まる	1	2	3	4
e. 子どもの学歴は親の経済力で決まる	1	2	3	4

問 31 「子どもに手がかからなくなる」という言い方があります。「手がかからなくなる」とは、子どもが何歳ぐらいのことをさすと思いますか。あなたのお考えになる年齢を記入してください。

子どもが 歳くらい

一人以上子どもを持つつもりの方・すでに子どもを持っている方
 → このまま問32へお進みください
 それ以外の方 → 問36へお進みください

問 32 あなたのお子さん(これから持つつもりの子どもを含めて)には、どの段階の学校まで進学してほしいですか。第1子、第2子について希望するものを1つずつ選び、○をつけてください。すでに学生でない子どもをお持ちの場合は、最終卒業学校について記入してください。子どものいない方は、出生順位に関係なく、性別のみ考慮して回答してください。

進学してほしい段階	第1子 (子どものいない方は男の子と想定して記入)	第2子 (子どものいない方は女の子と想定して記入)
	1. 中学校 2. 高校 3. 専修学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院	1. 中学校 2. 高校 3. 専修学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院

問 33 あなたの子どもには、次に挙げる学校について、**公立・私立・国立のどれに通ってほしい**ですか。太枠内のあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。すでに卒業した学校については事実を記入してください。

学校の種類	第1子 (子どものいない方は男の子と想定して記入)				第2子 (子どものいない方は女の子と想定して記入)			
	1	2	3	4	1	2	3	4
	公立	私立	国立	でい も ず よ れ い	公立	私立	国立	でい も ず よ れ い
a. 小学校	1	2	3	4	1	2	3	4
b. 中学校	1	2	3	4	1	2	3	4
c. 高校	1	2	3	4	1	2	3	4
【以下は、進学を希望する(または通った)学校の欄のみお答えください。】								
d. 専修学校(高卒後)	1	2	3	4	1	2	3	4
e. 短大・高専	1	2	3	4	1	2	3	4
f. 大学	1	2	3	4	1	2	3	4
g. 大学院	1	2	3	4	1	2	3	4

【子どもを1人以上お持ちの方におたずねします。子どものいない方は問36にお進みください。】

問 34 最初のお子さんの保育についておたずねします。次の各時期において、(1)お子さんの保育・世話をどなたがなさいましたか。また、(2)どのような制度や施設を利用しましたか。それぞれ、あてはまる番号すべてを回答欄に記入してください。

(1)世話をなされた方(あなた以外)	(2)利用した制度や施設	
1. 夫	1. 認可保育所	7. 幼稚園
2. 同居している夫の親	2. 無認可保育所(認証保育所含む)	8. 学童保育室
3. 同居している妻の親	3. 企業内保育所	9. その他
4. 別居している夫の親	4. 個人家庭保育、ベビーシッター	()
5. 別居している妻の親	5. 産前産後休暇制度	
6. その他()	6. 育児休業制度	

【回答欄にあてはまる番号を記入】

子どもの時期	(1)世話をなされた方	(2)利用した制度や施設
満3歳までの間		
4歳～6歳(小学校入学前まで)		
小学校入学後		

問 35 あなたのお子さんは、今まで、次の各時期においてどんな習い事をして、その費用は一ヶ月にどのくらいかかっていましたか。習い事の種類は、選択肢からあてはまるものを最大で3つまで選び、番号を記入してください。費用については、数字を記入してください。なお、「14. その他」を選ぶ場合は、「習い事の種類」欄に内容を記入してください。

1. 水泳	8. 絵画・工作
2. サッカー、野球などのスポーツ	9. 数や文字を教える知育・学習教室
3. 習字	10. 学習塾、予備校
4. そろばん	11. 家庭教師
5. ピアノ・エレクトーンなど音楽教室	12. 剣道、柔道などの武道
6. 体操	13. バレエやジャズダンス、日本舞踊などダンス
7. 英会話などの語学教室	14. その他（「習い事の種類」欄に記入）

【現在の学齢の欄まで記入してください。】

子どもの時期	第1子			第2子		
	習い事の種類	一ヶ月の合計費用		習い事の種類	一ヶ月の合計費用	
a. 乳幼児(0~5歳)		約_____円			約_____円	
b. 小学生(1~3年)		約_____円			約_____円	
c. 小学生(4~6年)		約_____円			約_____円	
d. 中学生		約_____円			約_____円	
e. 高校生		約_____円			約_____円	

ここからは再び全員の方におたずねします。

問 36 あなたは、子どもを産んだり育てたりする上で、次のようなことに関して悩みや問題を感じますか。あてはまるものを最大で5つまで選び、番号に○をつけてください。

1. 家庭の経済	9. 子どもの友人関係
2. 子どもの教育費	10. 子どもの病気や障害
3. 住居の問題	11. 子どもの身の安全
4. 子どもと接する時間	12. 子どもの受験や進学問題
5. 子育てを手伝ってくれる人/場所	13. 妊娠・出産に関する不安
6. 子育てと職業との両立	14. 子どもとの関係
7. 子どもをめぐる夫や親との考え方の相違	15. 家事・育児の負担が増えること
8. 子どもの学校や幼稚園等での生活	16. 特にない

問 37 あなたが子どもを育てる上で、あると良いと思うもの、もっと充実して欲しいと思うものについて、次の中からあてはまるものを最大で5つまで選び、○をつけてください。

1. 子育てについての相談や学習ができる場所
2. 働く間、小学校入学前の子どもを預けられる公的施設
3. 働く間、小学校の放課後に子どもを預けられる公的施設
4. 仕事以外の理由でも、一時的に子どもを預けられる公的施設
5. 土曜日や夏休みに学校で行なう補習授業
6. 子どもが友だちと自由に遊べる公園や遊び場の整備
7. サマーキャンプなど、夏休みに子どもを長期間預けられる活動
8. 子どもが自然や伝統工芸品作りなどを体験できる体験学習の機会
9. 親が子育てに十分関われる時間が取れるような職場環境
10. 子育てや子どもの教育のための経済的援助
11. 特にない

問 38 前問(問 37)で列挙した以外のもので、あると良いと思うものをご自由にお書きください。

問 39 あなたと夫が、(1)最後に卒業した(または現在通学している)学校と(2)その卒業・在学の別についておたずねします。それぞれ、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。さらに、すでに卒業されている方は、(3)卒業年について数字を記入してください。

対象者↓	(1)最後に通学した(または現在通学している)学校	(2)卒業・在学の別	(3)卒業年
あなた	1. 中学校 2. 高校 3. 専修学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他()	1. すでに卒業 └──────────┘ → 2. 現在在学中 (休学含む)	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年
夫	1. 中学校 2. 高校 3. 専修学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他()	1. すでに卒業 └──────────┘ → 2. 現在在学中 (休学含む)	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年

問 40 あなたと夫が今までに通学したすべての学校について、その学校が公立・私立・国立のいずれだったか、太枠内のあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

学校の種類	あなた			夫			
	1 公立	2 私立	3 国立	1 公立	2 私立	3 国立	4 わからない
a. 小学校	1	2	3	1	2	3	4
b. 中学校	1	2	3	1	2	3	4
c. 高校	1	2	3	1	2	3	4
d. 専修学校	1	2	3	1	2	3	4
e. 短大・高専	1	2	3	1	2	3	4
f. 大学	1	2	3	1	2	3	4
g. 大学院	1	2	3	1	2	3	4

問 41 現在のお住まいは次のどれにあたりますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。持ち家の場合は、所有者の名義について、あてはまる方すべてに○をしてください。

(1) 住居の種類	(2) 持ち家の所有者
1. 持ち家（一戸建て）	1. あなた 2. 夫 3. その他
2. 持ち家（マンションなど）	
3. 賃貸（一戸建て）	
4. 賃貸（アパート・マンションなど）	
5. 社宅・公務員宿舎など	
6. その他（ ）	

問 42 昨年のあなた自身とあなたの夫の収入についておたずねします。税込み年収（ボーナスや副収入を含み、税金、社会保険料その他が引かれる前の支給総額）について、あてはまる番号を1つだけ選び、回答欄に記入してください。なお、「14. 1000万円以上」にあてはまる場合には、具体的な金額を記入してください。

回答欄		1. なし		9. 450～550万円未満	
あなた		2. 1～50万円未満		10. 550～650万円未満	
		3. 50～100万円未満		11. 650～750万円未満	
夫		4. 100～130万円未満		12. 750～850万円未満	
		5. 130～150万円未満		13. 850～1000万円未満	
		6. 150～250万円未満		14. 1000万円以上	
		7. 250～350万円未満		あなた 約 _____ 万円	
		8. 350～450万円未満		夫 約 _____ 万円	

ここからは「秩父市」についておたずねします。

問 43 あなたと夫は、秩父市にどのくらい居住していますか。あてはまる数字を記入してください。

期間	あなた	夫
1年以上お住まいの方 →	() 年くらい	() 年くらい
1年未満の方 →	() ヶ月くらい	() ヶ月くらい

問 44 秩父市に住んでみて、あなたはどのくらい満足していますか。あなたの考えに近い数字に○をつけてください。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

← 不満 満足 →

問 45 秩父市に住んでみて、市の展開している子育て関連の行政サービスにあなたはどのくらい満足していますか。あなたの考えに近い数字に○をつけてください。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

← 不満 満足 →

問 46 学童保育室の整備についておたずねします。現在、公立学童保育室は花の木、下郷、宮地、中村、影森、高篠の6ヶ所に開設され、今年度は野坂地区にも設置されます。また、民間学童保育室は原谷地区、大田地区にあります。

今後は小学校1校に対して、1つの学童保育室を作ることが必要だと考えますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、学童保育に対してご意見がある場合は、右の自由記入欄にお書きください。

1. 必要
 2. 必要ない
 3. わからない

学童保育に対する意見記入欄

問 47 秩父市の施設や事業についておたずねします。(1)以下の施設・事業を知っていますか。(2)あなた自身やあなたのお子さんが利用したことはありますか。また、これから利用してみたいものはありますか。(1)、(2)のそれぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

秩父市の施設・事業	(1) 認知度		(2) 利用度		
	1 知っている	2 知らない	1 子どもが利用した(している)	2 あなた、または み今後利用して みたい	3 利用しなかった/利用する 予定はない
a. 保育所	1	2	1	2	3
b. 保育所の一時保育	1	2	1	2	3
c. 保育所の低年齢児保育	1	2	1	2	3
d. 子育て支援センターの子育て相談	1	2	1	2	3
e. 児童館	1	2	1	2	3
f. 学童保育室	1	2	1	2	3
g. 保健センターの両親学級	1	2	1	2	3
h. 保健センターの遊びの教室、すくすく教室、ことばの相談等	1	2	1	2	3
i. 妊産婦訪問指導、新生児訪問指導	1	2	1	2	3
j. 乳幼児健康診査	1	2	1	2	3
k. 図書館の催し(おはなし会、映画会)	1	2	1	2	3
l. 公民館の催し(幼児家庭教育学級、わいわい塾、親子ふれあい体験農場等)	1	2	1	2	3
m. 私立幼稚園就園費一部助成制度	1	2	1	2	3
n. 奨学金制度(武山育英資金、高山奨学資金、入学準備金)	1	2	1	2	3
o. のびのび子育て支援金	1	2	1	2	3
p. チャイルドシートの無償貸与	1	2	1	2	3
q. 家庭児童相談員による子どもについての心配ごと相談	1	2	1	2	3
r. その他()	1	2	1	2	3

◆この調査の内容に関連してご意見・ご要望がありましたら、何でもご記入ください。

調査票の記入は以上で終わりです。長時間にわたりご協力ありがとうございました。
誠に勝手ながら、ご返送は平成15年6月30日(月)までをお願い申し上げます。

少子化に関する市民調査

独身者用

平成15年6月
(調査実施) 秩父市企画財政部
(調査研究) 少子化研究会
(研究助成) 厚生労働省

※少子化研究会は国立社会保障・人口問題研究所を中心とした厚生労働省の研究プロジェクトです。

*** 調査ご協力をお願い ***

少子化の進行は、社会経済全般にわたって大きな影響を及ぼすと予測されており、秩父市においても、少子化の動向をふまえた市政運営が、これまで以上に重要になってきております。

今回の調査は、市民の皆様が、仕事、家族、結婚、出産・子育てといったことに対して、どのような意識をお持ちになっているかをおうかがいするために実施するものです。市民の皆様の率直なお考えをお聞かせいただき、それらのご意見を少子化に関する政策立案の基礎資料にさせていただきます。

調査をお願いする皆様は、市内在住の20歳～49歳の独身の方、約3500名を無作為に選ばせていただきました。(※調査の対象でなかった場合はご容赦ください。)

プライベートなおことをおうかがいする場合もございしますが、この調査は無記名で行なわれ、また、回答はすべて統計的に処理されるため、個人が特定されることはありません。また、この調査票に記入した事項は、統計以外の目的に使用したり、他人にもらしたりすることは絶対にありません。本調査の主旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

平成15年6月 秩父市企画財政部

<アンケート調査のご記入にあたって>

- ① ボールペンまたは鉛筆で記入してください。
- ② 質問番号順にお答えください。矢印(→)では指示にしたがって進んでください。

誠に勝手ながら、平成15年6月30日(月)までに、返信用封筒に切手を貼らずにご投かんくださいますようお願い申し上げます。(封筒にお名前を書く必要もございません。)

問合せ先：秩父市企画財政部企画課
電話：0494(22)2202 (直通)

問1 あなたの出生年月と性別を記入してください。

出生年月
昭和____年____月生まれ 満____歳

性別
1. 男性 2. 女性

問2 あなたの学校卒業後(中退後)最初について仕事と現在の仕事についておたずねします。各時期における(1)従業上の地位、(2)職業、(3)従業員数について、選択肢からあてはまるものを選び、太枠内の番号に1つずつ○をつけてください。

対象時期 ↓	(1) 従業上の地位	(2) 職業	(3) 従業員数 (本社・支社・工場のすべてを含む)
		1. 企業・団体の役員 2. 民間の正社員 3. 官公庁の正職員 4. パート・アルバイト・派遣 5. 自営業主・家族従業者 6. その他 7. 無職(学生を含む)・家事	1. 専門的・技術的職業 2. 事務・販売・サービス・保安職業 3. 農林漁業作業 4. 現場労働(運輸・製造・建設・その他) 5. その他
a. 卒業(中退)後の初職	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
b. 現在	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

問3 あなたが学校卒業後(中退後)に初めて仕事についたのはいつですか。これまでに仕事についたことのない方は記入しないで結構です。

[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] ____年____月

問4 あなたの(1)一日の平均労働時間、(2)一週間の平均労働日数、(3)平均的な通勤時間(片道)、(4)平均的な帰宅時間についておたずねします。下の各欄について、それぞれ、あてはまる数字を記入してください。仕事をお持ちでない方は記入しないで結構です。

(1) 一日の平均労働時間	(2) 一週間の平均労働日数	(3) 平均的な通勤時間(片道)	(4) 平均的な帰宅時間
____時間	____日	____時間____分	[1. 午前 2. 午後] ____時頃